

～ 腫瘍マーカー ～

PSA

前立腺で作られる特異的なたんぱく質です。
高値であってもがんと断言できません。前立腺肥大や前立腺の炎症などの
良性疾患でも高値になるため、病院で確定診断をする必要があります。

考えられる疾患・受診科

高値：前立腺肥大症、前立腺炎症、前立腺がん
《泌尿器科》

CEA

胃がんや大腸がんといった消化器系のがんで上昇します。
また、肝炎や肝硬変、喫煙などでも上昇する場合があります。
特異性は低いですが、病気の進行によって数値が上昇するため、
がんの経過観察などに用いられます。

考えられる疾患・受診科

高値：消化器がん(胃、大腸、直腸など)《消化器内科》
乳がん《乳腺科》、肺がんなど《呼吸器内科》

CA19-9

膵臓がんや胆道がんなどの消化器系のがんで上昇します。
その他の良性疾患でも高値になる場合があります。
日本人の約10%ではこの腫瘍マーカーに関連する抗原を持っていないため、
偽陰性となる場合があります。

考えられる疾患・受診科

高値：膵臓がん、胆道がんなどの消化器がん
《消化器内科》

AFP

肝臓がんの特異的です。正常な血液にはほとんど含まれておらず、肝がん、肝炎、肝硬変などの肝臓疾患で上昇します。

考えられる疾患・受診科

高値：肝がん、肝炎、肝硬変など
《消化器内科》

CA125

卵巣がん、子宮体がんなどの婦人科系の疾患で上昇します。また、女性ホルモンのエストロゲンによって産生促進されるため、月経中や妊娠初期などでも上昇します。そのため、検査をする時期も考慮する必要があります。

考えられる疾患・受診科

高値：卵巣がん、子宮体がん、子宮内膜症など
《婦人科》

SCC抗原

肺がんや子宮頸がんなどの扁平上皮がんの特異的です。また、良性皮膚疾患でも上昇します。

考えられる疾患・受診科

高値：食道がん《消化器内科》、皮膚がん《皮膚科》、子宮頸がん《婦人科》、肺がん《呼吸器内科》

CA15-3

乳がんの特異的です。原発性乳がん 비해転移性乳がんや再発性乳がんでの陽性率が高く、再発の発見や治療効果の判定に用いられます。

考えられる疾患・受診科

高値：再発性乳がん、転移性乳がん
《乳腺科》

CYFRA

肺の小細胞がんや扁平上皮がんの特異的です。

考えられる疾患・受診科

高値: 肺小細胞がん、肺扁平上皮がん
《呼吸器内科》

抗p53抗体

がん抑制遺伝子p53が変異して生じた異常たんぱくに対する抗体で、
早期の食道がん、大腸がん、乳がんの上昇します。

考えられる疾患・受診科

高値: 食道がん、大腸がん《消化器内科》、乳がん《乳腺科》

NSE

各臓器の神経内分泌細胞に存在しているため、神経芽細胞種などの
神経内分泌腫瘍で増加します。また、肺の小細胞がんでも上昇します。

考えられる疾患・受診科

高値: 神経芽細胞種、肺小細胞がんなど
《呼吸器内科など》